

M-AUDIO®

OXYGEN PRO MINI

ユーザーガイド
日本語

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

Oxygen Pro Mini 本体

USB ケーブル

クイックスタートガイド

ソフトウェアダウンロードカード

サポート

製品の最新情報 (システム要件や互換性情報など) は、M-Audio のホームページ m-audio.jp にてご確認ください。

また、製品のサポートについては、m-audio.jp/support/ をご参照ください。

セットアップ

接続

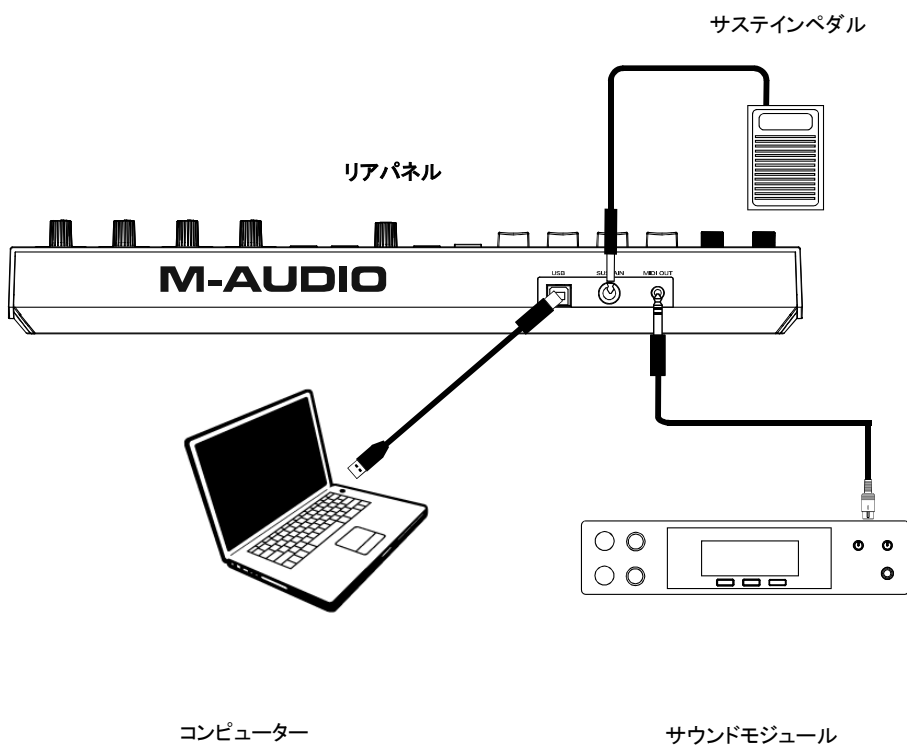
Oxygen Pro Mini を使い始めるには、機器を接続し、ソフトウェアを正しく設定した上で、本機の動作モードを設定する必要があります。

Oxygen Pro Mini とコンピューターの接続には、付属の USB ケーブルを使用します。ケーブルの USB-B 側を本体に、USB-A 側をコンピューター (またはコンピューターに接続された USB ハブ) に接続してください。

注: USB ケーブルはデータを送るだけでなく、本体に電力を供給します。USB ハブを使用して複数の USB 製品を同時に接続される場合は、電源付きの USB ハブの使用をお勧めします。

接続図

はじめに > 同梱物 に記載のないものは別売りです。



初期設定

初期設定 - DAW セットアップ

Oxygen Pro Miniには、DAWのフェーダー、ボタン、ノブ、パッド、そしてすべてのバーチャル・インストゥルメントをコントロールする機能があります。これらを使用するためには、まずOxygen Proを正しくDAWと連動させる必要があります。

1. **DAW ボタン**を長押しして、**ディスプレイ**の DAW Select メニューを開きます。
2. **選択/スクロールエンコーダー**を回すと、ディスプレイに表示される **DAW** が切り替わり、選択中の DAW 名がディスプレイに表示されます。User オプションを使うと、カスタム DAW のコントロールを本体にマッピングすることもできます。詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。
3. 使用する DAW が表示されたら、**選択/スクロールエンコーダー**を押して選択を確定してください。

ヒント:DAW を変更せずに DAW 選択モードを終了するには **BACK ボタン**を押します。

ほとんどのDAWはOxygen Pro Mini本体を自動的に認識し、DAWモードではOxygen ProをMIDIコントローラーとして、プリセットモードではバーチャル・インストゥルメント・コントローラーとして自動的に設定します。

お使いのDAWでOxygen Pro Miniキーボードが自動的に設定されない場合は、Oxygen Pro Mini DAW Setup Guidesに記載されている設定手順を行ってください。またはマニュアルマッピングをお試しください。

初期設定 - バーチャルインストゥルメント/プラグインの設定

適切な DAW を選択したところで、Oxygen Pro Mini に付属するすべてのバーチャル・インストゥルメント・プラグインと、お手持ちのその他のバーチャル・インストゥルメント・プラグインが動作するように設定します。

1. **PRESET ボタン**を長押しすると、**ディスプレイ**に PRESET Select メニューが表示されます。
2. **選択/スクロールエンコーダー**を回して、**ディスプレイ**に表示されるプリセットを循環させ、選択中のプリセット名がディスプレイに表示させます。バーチャル・インストゥルメントは、独自のカスタム設定をしたユーザープリセットを作成することもできます。詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。
3. ディスプレイに希望のプリセットが表示されたら、**選択/スクロールエンコーダー**を押して選択を確定します。

ヒント:プリセットを変更せずに PRESET Select メニューを終了するには、**BACK ボタン**を押します。

Oxygen Pro Miniにはバーチャル・インストゥルメントが同梱されています。(ダウンロード提供)。また、同梱されていないバーチャル・インストゥルメントについては、MPC Beatsをお好きなDAWのプラグイン・ホスト・アプリケーションとして使用し、Oxygen Pro Miniの**MPC PI**プリセットを使用することをお薦めします。MPC Beatsは、ソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメントのホスト・アプリケーションとして自由に使用することができ、Oxygen Pro Miniのすべてのコントロールをマッピングすることができま

MPC Beatsのダウンロード方法について詳しくは、akai-pro.jp/mpc-beatsをご覧ください。

初期設定 - ハードウェアシンセ

Oxygen Pro Miniをハードウェア・シンセで使用する場合は、本機の**MIDI出力ポート**とシンセを標準の5ピンMIDIケーブル(Type A)で接続します。そして、本機がカスタム・プリセットの1つを選択した状態で動作するように設定されていること(後述の**概要**をご覧ください)と、Global Settingで本機の5ピンのMIDIアウト・ポートからMIDIデータを送信するように設定されていることを確認します。外部のハードウェアシンセを使用するには、Oxygen Pro Miniをコンピューター、ラップトップ、またはパワードUSBハブに接続する必要があります。

Oxygen Pro Miniでは、5ピンのMIDI出力からどのようなメッセージを送信するかを選択することができます。

- ・接続したPCからのメッセージのみを外部ハードウェア・シンセに送信する場合は**USB**
- ・Oxygen Pro Miniからのメッセージのみを外部ハードウェア・シンセに送信する場合は**KEYS**
- ・接続したコンピューターと本機からのメッセージを外部ハードウェア・シンセに送信する場合は**KEYS/USB**を選択できます。

これらのコントロールを適切に設定するためには、以下の手順で行ってください。

1. **SHIFTボタン**を押しながら**MODE/GLOBALボタン**を押すと**GLOBAL EDIT**モードに入ります。
2. **GLOBAL EDIT**メニューで**選択/スクロールエンコーダー**を使って **MIDI OUT** にスクロールします。**MIDI OUT**がハイライトされたら、**選択/スクロールエンコーダー**を押して**MIDI OUT**の選択に入ります。次に、**選択/スクロールエンコーダー**でOxygen Pro Miniの5ピンMIDIアウトから送信するメッセージを選択します。
 - a. **OFF**:5ピン出力からメッセージが送信されない。
 - b. **KEYS**:Oxygen Pro Miniのすべてのコントロール、キーおよびパッドからのメッセージは5ピン出力から送信されます。
 - c. **USB**:コンピューターに接続されたOxygen Pro MiniのMIDI Port 2 で受信したメッセージのみが5ピン出力から送信されます。
 - d. **KEYS/USB**:Oxygen Pro Miniからのメッセージおよびコンピューターに接続されたOxygen Pro MiniのMIDI Port 2 で受信したメッセージが5ピン出力から送信されます。
3. **MIDI OUT** 設定を選択後、**BACKボタン**を押すと**GLOBAL EDIT** メニューから出ます。

付属ソフトウェアのインストール

m-audio.com にアカウントを作成し、ログイン後にお手元の Oxygen Pro Mini を製品登録してください。製品登録が完了したら、**M-Audio Software Manager** をダウンロードしてください。

DAWおよびVirtual Instruments

Software Manager では、全ての付属ソフトウェアにアクセスすることができます。

Oxygen Pro Mini には、2 つの DAW、**MPC Beats** および Ableton Live Lite が付属しているため、すぐにプロフェッショナルなソフトウェアを使って音楽制作を始めることができます。加えて DAW で使用するための MPC Beats のエクステンションパックのセットおよび AIR パーチャルインストゥルメントプラグインが付属しています。

付属の MPC Beats、Ableton Live Lite DAW software、AIR パーチャル・インストゥルメントプラグイン、および MPC Beats エクステンションパックをダウンロードするには、お手元の Oxygen Pro Mini を m-audio.com で製品登録し、M-Audio Software Manager をダウンロードします。M-Audio Software Manager がすべての付属ソフトウェアをダウンロードおよびインストールする方法を順番にガイドします。

プリセットエディター

付属のプリセットエディター (Oxygen Pro Mini Editor) ソフトウェアをダウンロードするには、M-Audio Software Manager の指示に従ってください。Oxygen Pro Mini Editor ソフトウェアは Oxygen Pro Mini に DAW および Preset のカスタムマッピングをロードするために使用できます。Oxygen Pro Mini Editor ソフトウェアには別のエディターユーザーガイドがあります。

MPC Beats

付属の MPC Beats ソフトウェアをダウンロードするには、akai-pro.jp/mpc-beats をご覧ください。MPC Beats は伝説的な AKAI Pro MPC および MPC2 デスクトップソフトウェアに基づいて設計された直感的に使える DAW で、かつソフトシンセ/パーチャルインストゥルメントのプラグインを含んでいます。素晴らしいビートを作成するのに必要なツールをすべて備え、新しいビートメーカーに力を与えます。

既存の DAW との完全な統合のために、MPC Beats はすべての主流の DAW のプラグインとして開くことができます。これによって、MPC Beats をソフトシンセ/パーチャルインストゥルメントのプラグインとして使用することができ、Oxygen Pro Mini のすべてのコントロールをお気に入りのソフトシンセ/パーチャルインストゥルメントプラグインにマッピングさせることができます。

DAW モードと Preset モード

Oxygen Pro Mini を DAW で使用するためにセットアップしたら、Preset か DAW いずれかの操作モードを設定してください。操作モードを選択することによって、DAW の操作子をコントロールする DAW モードと、ソフト・シンセ/バーチャルインストゥルメントをコントロールする Preset モードのどちらを ON にするかをボタン操作で素早く切り替えることができます。

これらの 2 つの操作モードは編集可能な MIDI コントロールを決定します。

- **DAW:** DAW モードでは、MIDI コントロールはフェーダー、ボタン、ノブ、場合によっては DAW のパッドにマッピングされます。
- **Preset:** Preset モードでは、MIDI コントロールはフェーダー、ボタン、ノブ、選択したバーチャルインストゥルメントのパッドにマッピングされます。MIDI コントロールは任意の機能に割り当てることができます。個別のプリセットマッピングの数字が作成され内蔵メモリに保存されるので、後からロードすることができます。

DAW モードに設定するには、DAW/PRESET ボタンを押します。DAW モードを選択すると、ボタンの LED が点灯します。

どの DAW をコントロールするのか設定するには:

1. DAW/PRESET ボタンを長押ししてディスプレイに DAW Select メニューを表示します。
2. 選択/スクロールエンコーダーを回して、ディスプレイで利用可能な DAW を切り替えます。User では、DAW とキーボードのカスタムマッピングを行うことができます。詳しくは、後述の概要をご覧ください。
3. ディスプレイで希望する DAW が表示されたら、選択/スクロールエンコーダーを押して選択を確定してください。

ヒント: DAW を変更せずに DAW 選択モードを終了するには BACK ボタンを押します。

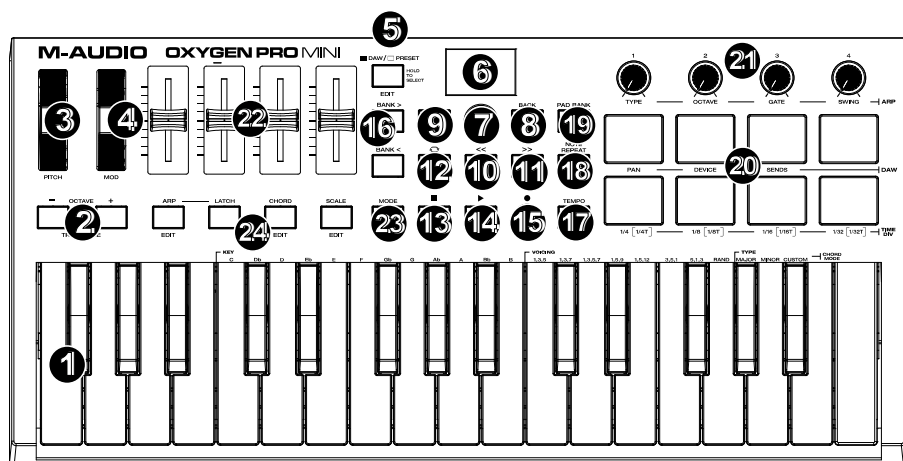
Preset モードに設定するには、DAW/Preset ボタンを押します。ボタンの LED が消灯します。

選択中のプリセットを変更するには:

1. DAW/PRESET ボタンを長押ししてディスプレイに Preset Select メニューを表示させます。
 2. 選択/スクロールエンコーダーを回し、利用可能なプリセットを切り替えます。
 3. ディスプレイで希望するプリセットが表示されたら、選択/スクロールエンコーダーを押して選択を確定してください。
- プリセットのマッピングについて詳しくは、後述の概要をご覧ください。

機能

トップパネル



鍵盤/OCTAVE ボタン/ピッチベンド・ホイール/モジュレーション・ホイール

ヒント: ボタンの下にある機能名は、キーボードコントロールのサブ機能です。サブ機能は、SHIFT ボタンを押しながらボタンを押して使用します。

1. **鍵盤:** ペロシティ対応の鍵盤で、MIDIノートON/OFFメッセージを送信します。

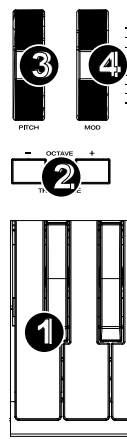
SHIFTボタンを押しながらC2～Bb3鍵盤のどれかを押すと、コードモード設定が編集できます。詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。

2. **OCTAVEボタン +/-:** これらのボタンを使って、オクターブのレンジを上下にシフトします。デフォルトのオクターブから上下に4オクターブまで、1オクターブずつ変更が可能です。**SHIFTボタン**を押しながらOCTAVEボタンを押すと、レンジを半音(1セミトーン)ずつ上下どちらかに移動できます。

オクターブのレンジをデフォルトの位置に戻すには、(+)ボタンと(-)ボタンを同時に押します。

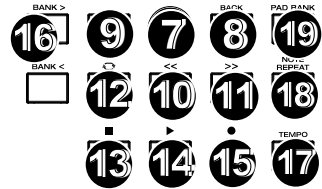
3. **ピッチベンド・ホイール:** このホイールを操作すれば、演奏中にピッチを上下させることができます。ピッチベンドのレンジはご使用のソフトウェアシンセにより異なります。ピッチベンド・ホイールはスプリング式で、指を離すと通常的位置・音程に戻ります。

4. **モジュレーション・ホイール:** このホイールを動かして、連続コントローラーデータ(デフォルトではMIDI CC #01(モジュレーション))を送信します。



ボタン

5. **DAW/ PRESET [EDIT]ボタン**: Oxygen Pro MiniをDAWモード/Presetモードで操作するにはこのボタンを押します。DAWモードでは、このボタンのLEDが明るく光ります。Presetでは、このボタンのLEDは光りません。SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、プリセット/ユーザーDAWプリセットの編集ができます。編集が完了し、再度このボタンを押すと、プリセット/ユーザーDAWプリセットへの変更点がセーブされます。なお、このボタンを長押しすると、DAW/Preset選択メニューがディスプレイに表示されます。



DAW/Presetモードについて詳しくは、後述の**操作モードの設定**をご覧ください。

プリセットのマッピングについて詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。

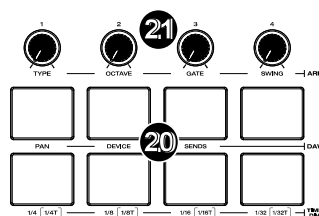
6. **ディスプレイ**: **ディスプレイ画面**には最新の操作内容が表示されます。この画面を使用して、キーボードコントロールを調整する際のパラメータレベルを確認できます。また、ディスプレイで内容を確認しながら、**選択/スクロールエンコーダー**を回して各種設定を行うこともできます。
7. **選択/スクロールエンコーダー**: ディスプレイで編集メニューを使用する際、このノブを回して設定/パラメータを調整します。ノブを押すと、設定内容を決定します。
- 編集メニューを何も表示していない際は、このノブを回す/押す操作にはそれぞれ別のMIDIコントロール機能が割り当てられている状態になっています。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセット/ユーザーDAWを選択して操作する場合、このノブを回す/押す操作の割り当ては編集することができます。
8. **BACKボタン**: **ディスプレイ**で編集メニューを使用する際、このボタンを押すとメインディスプレイ画面に戻ります。
- 編集メニューを何も表示していない際は、BACKボタン操作にはコントロール機能が割り当てられている状態になっています。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセット/ユーザーDAWを選択して操作する場合、BACKボタン操作への割り当ては編集できます。
- プリセット/DAWの名前を編集集中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、入力した文字を1文字消すdeleteキーとして機能します。
9. **SHIFTボタン**: SHIFTボタンを押しながらコントロール機能のボタンや鍵盤を押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。
10. **(<<) ボタン**: DAW上で選択している画面により、開いているソングの「巻き戻しボタン」として機能するか、開いているウィンドウで「下に移動するボタン」として機能します。
- お使いのDAWによっては、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押す必要がある場合もあります。
11. **(>>) ボタン**: DAW上で選択している画面により、開いているソングの「早送りボタン」として機能するか、開いているウィンドウで「上に移動するボタン」として機能します。
- お使いのDAWによっては、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押す必要がある場合もあります。
12. **LOOPボタン**: このボタンを押し、DAW上でのループ機能をON/OFFに設定します。
13. **STOPボタン**: このボタンを押すと、DAWで開いているソングが停止します。ダブルクリックすると開いている曲が停止し、再生ヘッドがソングの最初に戻ります。
- SHIFTキーとこのボタンを押すと、MIDIリセットメッセージが送信され、すべてのノートメッセージがOFFになり、すべてのコントロールがゼロに戻ります。
14. **PLAYボタン**: このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。
15. **RECORDボタン**: このボタンを押すと、DAWでレコーディングが可能になります。
16. **BANK(>)ボタン/BANK(<)ボタン**: DAWモードまたはカスタムプリセットの1つを操作している場合、これらのボタンを使用すると、Sliders、Knobs、Functionボタンのバンクを切り替えることができます。SHIFTキーとBANK(>)ボタンを押すと、SHIFTキーを押しながら使用するARP(アルペジエーター)

ノブコントロール機能が固定されます。この機能は、ライブパフォーマンス中にアルペジエーターのパラメータを操作する際に役立ちます。ARPノブやパッドを元の機能に戻すには、再度SHIFTキーと、**BANK(>)**ボタンを押します。

17. **TEMPOボタン**:このボタンを押すとOxygen Pro Miniのテンポを設定できます。長押ししてディスプレイのテンポ編集メニューを開き、選択/スクロールエンコーダーを使用して手動でテンポを入力し、Oxygen Pro MiniのテンポをDAWと同期することもできます。テンポの設定はアルペジエーター/ノートリピート機能にも影響します。詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。
18. **NOTE REPEAT(LATCH)ボタン**:このボタンを押すとパッドのノートリピート機能が有効になります。SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、ノートリピート機能のラッチ(固定再生)のON/OFFを切り替えることができます。ノートリピート機能について詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。
19. **PAD BANKボタン**:このボタンを押すと、別のパッドバンクに切り替わります。パッドバンクは2つまで使用できます。

パッド/ノブ

20. **パッド (1~8)**:プリセットまたはユーザーDAWを使用している際、パッドを使用すれば、MIDIノートON/OFFメッセージの送信や、その他、アサインされたMIDIコントロールを実行したりできます。ノートリピート機能がONになっている状態で選択/スクロールエンコーダーノブを使用すれば、アルペジエーターやノートリピートでのTime Division設定を調節することができます。



21. **ノブ (1~4)**:ノブを左右に回すと、割り当てたコントロールを操作できます。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセットまたはユーザーDAWを選択して操作する場合、割り当ててるコントロールを編集できます。

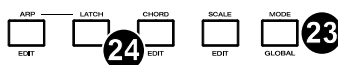
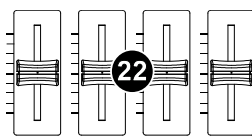
選択したDAWモードでノブ操作する場合、あらかじめアサインされているノブの機能を変更することもできます。詳しくは、後述の**概要**をご覧ください。

SHIFTボタンを押しながら**ノブ1~4**を押すと、アルペジエーターの設定を編集することができます。

重要:フェーダーとノブはソフトテイクオーバーの対象です。ソフトテイクオーバーとは、バンクを切り替えた際、急激に値が変化しないようにする制御機能です。バンクを切り替えた場合、フェーダーまたはノブは、新しく選択したソフトウェアコントロールの現在の値に配置されるまで機能しません。例えば、バンク1でフェーダー1の値を上げた状態でバンク2に切り替えると、本機のフェーダーでソフトウェアフェーダー5の値をバンク1で上げた値に上げるまで、本機のフェーダー1での操作はソフトウェアフェーダー5の値に影響を与えません。この機能により、1つのバンク、次に新しいバンクのコントロールに不要な変更を加えることなくバンクを切り替えることができます。割り当てられたコントロールを「引き継ぐ」前に**フェーダー**または**ノブ**を操作する必要がある場合、**ディスプレイ**にはチェック柄のバリューメーターが表示されます。

フェーダー/フェーダーボタン

22. **フェーダー(1~4)**:フェーダーを上下に動かすと、割り当てたコントロールを操作できます。DAWで操作する場合、割り当てられるコントロールは事前に決定されます。プリセットまたはユーザーDAWを選択して操作する場合、割り当てたコントロールを編集できます。



23. **MODE ボタン**:

• **MODE ボタン**が点灯していない場合、下記(24 番)に説明のある**フェーダーボタン**では、ボタン上に印字のあるメイン機能 (**ARP/LATCH/CHORD/SCALE**) が使用できます。

• **MODE ボタン**を押して点灯している状態では、フェーダーボタンのサブ機能が使用できます。使用できるサブ機能は、使用しているモード(DAW モード/Preset モード)により異なります。

○ DAW モードの場合

フェーダーボタンで利用できるサブ機能

- **Rec**: MIDI レコーディング待機
- **Select**:トラック選択
- **Mute**:トラックミュート
- **Solo**:トラックソロ再生

SHIFT ボタンを押しながら **MODE ボタン**を押すと、Global Setting での設定を編集することができます。Global Setting で **BUTTON** の設定を編集すると、上記の4種類のフェーダーボタンへのサブ機能のアサインを変更することができます。

○ Preset モードの場合

フェーダーボタンのサブ機能は MIDI コントロールとなり、ユーザープリセットにあらかじめ設定した MIDI コントロールを実行するのに使用できるようになります。

詳しくは、Global Setting メニューをご覧ください。

24. **フェーダーボタン(1~4)**:ファンクションボタンは、主なモードに設定すると、以下の鍵盤機能を設定することができます。:

ARP(アルペジエーター)ボタン:このボタンを押すと、アルペジエーターが有効になります。SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、アルペジエーターの設定を編集できます。

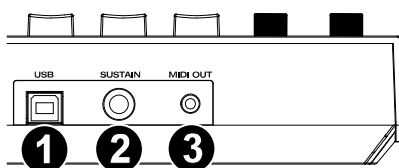
LATCHボタン:このボタンを押すと、アルペジエーターのMOMENTARY(トリガー)モードとLATCH(固定)モードを切り替えることができます。

CHORDボタン:このボタンを押すと、コードモードが有効になります。SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、コードモードの設定を編集できます。

SCALEボタン:このボタンを押すと、スケールモードが有効になります。SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、スケールモードの設定を編集できます。

リアパネル

1. **USBポート:** コンピューターに接続し、本体への電源供給とMIDIデータの送受信を行います。
2. **サステインペダル接続端子:** サステインペダル(別売)を接続する入力端子です。デフォルト設定の状態でキーを演奏しペダルを踏むと、キーから指を離している間もサステイン効果を得られます。サステインペダルの入力をリマッピングしてカスタムアサインすることも可能です。



注意: サステインペダルを踏みながら Oxygen Pro Mini の電源を入れないでください。サステインペダルは Oxygen Pro Mini 起動時に OFF の状態だと自動的に認識されるため、踏みながら電源を入れると、挙動が正反対(踏んでいない状態でサステイン効果が ON、踏むと OFF になる)に設定されます。

3. **MIDI出力:** 標準の5ピンDIN MIDIケーブル(別売)を使用して、このポートをハードウェアシンセまたは他のMIDIデバイスに接続します。

注意: MIDI 出力ポートは、Oxygen Pro Mini とコンピューターを接続し、MIDI データを送受信します。詳しくは、Global Setting メニューをご覧ください。

注意: MIDI 出力ポートとシンセの接続には、標準の 5 ピン MIDI ケーブル(Type A)をご使用ください。

概要

この項では Oxygen Pro Mini のいくつかの基本的な概要について説明します。

鍵盤

オクターブトランスポジション

テンポ・コントロール

ノート・リピート/ラッチ・ボタン

プリセット

DAW モード/プリセット・モード

SHIFT ボタン

選択・スクロールエンコーダーノブ/ボタン

MODE ボタン

アルペジエーター/ラッチ・コントロール

スマート・コード・コントロール

スマート・スケール・コントロール

DAW・ノブ・コントロール

アルペジエーター・ノブ・コントロール

各セクションには、本ユーザーガイドの他の関連セクションへの説明も含まれていますので、そちらも併せてお読みください。

鍵盤

本製品の鍵盤はベロシティ対応で、10 オクターブにわたり利用可能な 127 のすべての範囲の MIDI ノートにアクセスすることができます。

SHIFT ボタンを押しながら機能名の印字された鍵盤を押すと、コード機能を素早く編集したり、グローバルチャンネルを変更することができます。

オクターブトランスポジション

OCTAVE ボタン +/-ボタンを使用すれば、鍵盤は 10 オクターブまでの MIDI ノートを演奏することができます。加えて、上下どちらにも 12 セミトーン (12 半音 = 1 オクターブ) まで移調することができます。

オクターブ:

鍵盤で演奏するオクターブを変更するには、**OCTAVE ボタン** +/-ボタンを使用します。ディスプレイには一時的に **KEYS OCT** という表示と、現在のオクターブレンジ (位置) が数字で表示されます。

Oxygen Pro Mini では、下は -4 オクターブ、上は +5 オクターブまで移調することができます。オクターブ「0」の位置も含めると、全部で 10 オクターブまでが鍵盤で演奏可能ということになります。

トランスポジション:

トランスポジションの変更とは、鍵盤で演奏する音色を半音ずつ移調させることです。

キーボードのトランスポジションを変更するには、**SHIFT**を押しながら **OCTAVE ボタン** +/-ボタンを任意の回数押します。ディスプレイには一時的に **KEYS TRANS** という表示と、現在のトランスポジションの位置が数字で表示されます。前述の通り、トランスポジションは上下どちらにも 12 セミトーン (12 半音 = 1 オクターブ) まで移調することができます。

テンポ・コントロール

一定のテンポで **TEMPO** ボタンを繰り返しタップすると、テンポを変更することができます。

また、テンポに関する設定の編集にもこのボタンを使用します。
TEMPO ボタンを長押しすると、テンポ編集モードに入ることができます。

テンポ編集モードでは、選択/スクロールエンコーダーを回し、編集したい3つの項目のいずれかを選択します。編集できる3つの項目は以下の通りです。

1. **CLOCK:** Oxygen Pro Mini のテンポが、接続した DAW との間で送受信されるクロックメッセージのどちらに従うかを選択します。以下の2つから選択可能です。
 - **INTERNAL:** テンポが内蔵クロックから送信される MIDI メッセージに従います。
つまり、DAW のテンポが Oxygen Pro Mini で設定したテンポに従う設定です。
 - **EXTERNAL:** テンポが外部クロックから受信した MIDI メッセージに従います。
つまり、Oxygen Pro Mini のテンポが DAW で設定したテンポに従う設定です。
2. **BPM ###:** テンポの値を整数で調整します。
設定可能な値は BPM **20.00 – 240.00** です。
3. **BPM .# :** テンポの値の小数点以下を調整します。
設定可能な値は **0.0 – 0.9** です。

項目を選択したら選択/スクロールエンコーダーを1度押してから回すと項目内の設定およびテンポの値を変更することができます。選択/スクロールエンコーダーを再度押すと、設定およびテンポの値が決定されます。

注意: クロックメッセージは Oxygen Port 1 (Oxygen ###/USB MIDI)で送受信されます。

NOTE REPEAT / LATCH ボタン

このボタンを押している間は、パッドのノート・リピート/ロール機能が有効になります。

SHIFT ボタンとこのボタンを一緒に押すと、ノート・リピート/ロール機能のラッチ(固定)機能が有効になります。ラッチ時には、パッドを押さえている間だけノート・リピート/ロール再生が有効になり、**Note Repeat / Latch** ボタンを押さえ続ける必要はありません。

また、このボタンを押している間は、選択/スクロールエンコーダーで現在のアルペジエーターとパッドのノート・リピートの Time Division 設定を変更することができます。

設定可能な Time Division の選択肢は以下の通りです。

- 1/4
- 1/4T
- 1/8
- 1/8T
- 1/16
- 1/16T
- 1/32
- 1/32T

ヒント:SHIFT ボタンを押しながら下段4つのパッドのいずれかをタップすると、パッドの下に印字のある Time Division 設定(1/4、1/8、1/16、1/32)に即座に変更する事ができます。括弧の中にある3連符の設定機能(1/4T、1/8T、1/16T、1/32T)に設定するには、SHIFT ボタンを押しながら下段4つのパッドのいずれかをダブルタップしてください。

プリセット

プリセットには、Oxygen の操作子、チャンネル設定等のアサイン情報をセーブすることができます。Oxygen Pro Mini の内蔵メモリには 14 プリセットまでセーブすることができ、各バーチャルインストゥルメントやプロジェクト/セッションに対して目的のプリセットを使用することができます。

Oxygen Pro Mini の内蔵メモリには、独自のカスタム設定をしたユーザー・DAW プリセットを作成し、付属の DAW プリセットと共にセーブすることができます。このユーザー・DAW プリセットは、デジタル・オーディオ・ワークステーション (DAW) で使用することが可能です。

お手元の Oxygen Pro Mini を [m-audio.com](https://www.m-audio.com) で製品登録し、M-Audio Software Manager をダウンロードしてください。

Software Manager では、**Preset Editor** を含むすべての付属ソフトウェアにアクセスすることができます。Preset Editor ではハードウェアのインターフェースを使用せずに、本機の操作子からコンピューターに送信される様々な MIDI メッセージを視覚的かつ直感的に編集することができます。Preset Editor ではコンピューターでカスタムプリセットをセーブしたりロードしたりすることができます。

Oxygen Pro Mini でプリセットを選択するには、DAW/PRESET ボタンを長押ししてボタンを消灯させ Preset Mode にします。ディスプレイに Preset 選択画面が表示されるので、選択/スクロールエンコーダーを回し、利用可能なプリセットを選択したら選択/スクロールエンコーダーを押して選択を確定してください。

重要: プリセットをセーブせずに本機の電源を切ると、アサインした設定や変更点はすべて失われてしまいます。

DAW モードと Preset モード

DAW と接続して使用するセットアップが完了したら、Preset モードおよび DAW モードに設定してください。操作モードを選択することによって、DAW の操作子をコントロールする DAW モードと、ソフト・シンセ/バーチャルインストゥルメントをコントロールする Preset モードのどちらを ON にするかは、ボタン操作で素早く切り替えることができます。

これらの 2 つの操作モードは MIDI キーボードの編集可能な操作子を決定します。

- **DAW:** DAW モードでは、キーボードの操作子はフェーダー、ボタン、ノブ、場合によっては DAW のパッドにマッピングされます。
- **Preset:** Preset モードでは、キーボードの操作子はフェーダー、ボタン、ノブ、選択したバーチャルインストゥルメントのパッドにマッピングされます。変更した機能は、本機の各操作子にアサインすることができます。プリセットマッピングのユーザー設定は、複数作成し、本機の内蔵メモリにセーブし、後からロードすることができます。

DAW モードに設定するには、DAW/PRESET ボタンを押します。DAW モードを選択すると、ボタンの LED が点灯します。

どの DAW をコントロールするのか設定するには：

1. DAW/PRESET ボタンを長押ししてディスプレイに DAW Select メニューを表示します。
2. 利用可能な DAW に切り替えるには、選択/スクロールエンコーダーを回します。User では、DAW とキーボードのカスタムマッピングを行うことができます。詳しくは、後述の概要をご覧ください。
3. ディスプレイで希望する DAW が表示されたら、選択/スクロールエンコーダーを押して選択を確定してください。

ヒント: DAW を変更せずに DAW 選択モードを終了するには BACK ボタンを押します。

ほとんどの DAW は Oxygen Pro Mini 本体を自動的に認識し、DAW モードでは Oxygen Pro を MIDI コントローラーとして、プリセットモードではバーチャル・インストゥルメント・コントローラーとして自動的に設定します。

お使いの DAW で Oxygen Pro Mini キーボードが自動的に設定されない場合は、Oxygen Pro Mini DAW Setup Guides に記載されている設定手順に従ってください。

キーボードをプリセット・モードに設定するには、DAW/プリセット・ボタンを押してください。LED はプリセット・モードが選択されていることを示すために消灯します。

現在選択されているプリセットを変更するには：

1. プリセットボタンを長押しして、ディスプレイ上にプリセット選択メニューを表示します。
2. Select/Scroll Encoder を回して、ディスプレイ上の利用可能なプリセットを循環させます。エンコーダーを回すと、現在選択されているプリセットがディスプレイ上で更新されます。
3. 選択したいプリセットが Display に表示されたら、Select/Scroll Encoder を押して、選択を確認します。

Oxygen Pro Mini に付属するバーチャル・インストゥルメントに対応するプリセットが用意されています。Oxygen Pro Mini に付属していないバーチャル・インストゥルメントについては、MPC Beats を愛用の DAW でプラグインとして使用し、Oxygen Pro Mini の MPC PI プリセットを使用することをお勧めします。MPC Beats は主要 DAW 上でプラグインとして開くことができます。これにより、MPC Beats をソフトシンセ/バーチャル・インストゥルメントのプラグインとして自由に使用することができ、Oxygen Pro Mini の全てのコントロールをお気に入りのソフトシンセ/バーチャル・インストゥルメントのプラグインに自動マッピングすることが可能になります。

付属の MPC Beats ソフトウェアをダウンロードするには、付属のソフトウェアダウンロードカードの説明に従ってください。またはこちらのリンクから <http://akai-pro.jp/mpc-beats/>

SHIFT ボタン

このボタンを押しながらコントロール機能のボタンや鍵盤を押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。

BACK ボタン

キーボードで利用可能ないずれかの編集モードに入っている場合、このボタンで直前のメニューに戻ることができます。編集モードに入っていない場合は、このボタンで DAW モードで別個の MIDI、Mackie もしくは Mackie/HUI メッセージを送信します。PRESET モードでは、プリセット 1-14 が選択されている場合、このボタンで別個のユーザー編集可能な MIDI メッセージを送信します。

プリセット/DAW の名前を編集中に **SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、入力した文字を 1 文字消す delete キーとして機能します。

選択/スクロールエンコーダーノブ・ボタン

ディスプレイで編集メニューを使用する際、このノブを回して設定/パラメーターを調整します。ノブを押すと、設定内容を決定します。DAW モードでは、このノブを回して上下または左右に移動でき、(DAW により異なります)、このノブをボタンとして押すことで選択した項目や値などを確定します。Preset モードでは、上記の DAW モードと同じ機能に加え、このエンコーダーへのアサイン内容、プログラムや CC メッセージのいずれかを送信します。

Note Repeat/Latch ボタンを押している間は、選択/スクロールエンコーダーで現在のアルペジエーターとパッドのノート・リピートの Time Division 設定を変更することができます。

MODE ボタン

MODE ボタンを押して点灯している状態では、フェーダーボタンのサブ機能が使用できます。使用できるサブ機能は、使用しているモード(DAW モード/Preset モード)と、選択したボタンにより異なります。

Preset モードおよび DAW モードでは、フェーダーボタンに印字された機能は常に選択可能です。

○ DAW モードの場合

フェーダーボタンで利用できるサブ機能

- **Rec**:MIDI レコーディング待機
- **Select**:トラック選択
- **Mute**:トラックミュート
- **Solo**:トラックソロ再生

SHIFT ボタンを押しながら **MODE** ボタンを押すと、Global Setting での設定を編集することができます。Global Setting で **BUTTON** の設定を編集すると、上記の4種類のフェーダーボタンへのサブ機能のアサインを変更することができます。

○ Preset モードの場合

フェーダーボタンのサブ機能は MIDI コントロールとなり、ユーザープリセットにあらかじめ設定した MIDI コントロールを実行するのに使用できるようになります。

以下がそれぞれの詳細です。

DAW モードの場合

- **Off/No LED**: フェーダーボタンを押すと、以下のオプションが有効になります。:
 - **ARP**(アルペジエーター) On/Off、ARP Edit Enter/Exit
 - **ARP**(アルペジエーター) Latch On/Off
 - **Smart Chord** On/Off、Chord Edit Enter/Exit
 - **Smart Scale** On/Off、Scales Edit Enter/Exit
- **Rec/Mode LED lit**: DAW で現在選択されているチャンネルのレコードアーム MIDI、Mackie、または Mackie/HUI メッセージをアクティブになります。
- **Select/Mode LED lit**: DAW で現在選択されているチャンネルのトラックセレクト MIDI、Mackie、または Mackie/HUI メッセージをアクティブになります。
- **Mute/Mode LED lit**: DAW で現在選択されているチャンネルの Mute MIDI、Mackie、Mackie/HUI メッセージがアクティブになります。
- **Solo/Mode LED lit**: DAW で現在選択されているチャンネルのソロ MIDI、Mackie、または Mackie/HUI メッセージがアクティブになります。

Preset Mode

- **Off/No LED**: フェーダーボタンを押すと、以下のオプションが有効になります。:
 - **ARP**(アルペジエーター) On/Off、ARP Edit Enter/Exit
 - **ARP**(アルペジエーター) Latch On/Off
 - **Chord** On/Off、Chord Edit Enter/Exit
 - **Scales** On/Off、Scales Edit Enter/Exit
- **MIDI/Mode LED lit**: ファクトリープリセットであらかじめ決められた MIDI メッセージを送信、ユーザープリセットではユーザーが割り当てた MIDI メッセージを送信します。

ARP ボタンと LATCH ボタン

ARP(アルペジエーター)ボタンを押すと、アルペジエーターが有効になります。アルペジエーターの周期は現在のテンポと Time Division 設定に基づきます。テンポ設定は TEMPO ボタンで編集可能です。Time Division 設定は **NOTE REPEAT/LATCH** ボタンを押しながら、選択/スクロールエンコーダーを回し、押して設定します。

また、SHIFT ボタンを押しながら**下段4つのパッド**のいずれかをタップすると、パッドの下に印字のある Time Division 設定 (1/4、1/8、1/16、1/32) に即座に変更する事ができます。括弧の中にある 3 連符の設定機能 (1/4T、1/8T、1/16T、1/32T) に設定するには、SHIFT ボタンを押しながら下段4つのパッドのいずれかをダブルタップしてください。

アルペジエーターの LATCH ボタン(上記 ARP ボタンの右のボタン)を押すと、アルペジエーターのラッチ(固定)モードの ON/OFF を切り替えることができます。アルペジエーターのラッチ時(ON の状態)では、この **LATCH** ボタンが点灯した状態になります。

ヒント:アルペジエーターは、現在のテンポの BPM 設定、または外部 MIDI クロックソースに同期させることも可能です。クロックソースは、プリセットエディットモードで Tempo ボタンを押しながら編集することができます。アルペジエーター機能は、2 つのモード、DAW、PRESET で使用できます。

CHORD ボタン(スマートコード機能)

このボタンを押すと、スマートコード機能が有効になります。スマートコード機能は演奏された鍵盤やパッドによって、コードのルートノート(根音)が決まり、演奏されるコードの種類は GLOBAL SETTINGS メニューの設定によって変わります。

スマートコード機能が有効な場合、鍵盤を単音で弾くと CHORD ボタンのサブ機能(EDIT)で選択したコードを演奏します。この機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

SCALE ボタン(スマートスケール機能)

このボタンを押すと、スマートスケール機能が有効になります。スマートスケール機能では、指定したノート以外のキーは触っても鳴らない設定にすることができます。この機能の設定は、SCALE ボタンのサブ機能(EDIT)で選択したスケールによって変わります。この機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

DAW モードでのノブ・アサイン編集

SHIFT ボタンを押しながら、上の列のパッドの1～3 つ目のいずれかを押すと、DAW モードでのノブの機能を変更することができます。

DAW モード

- **PAN:** DAW で選択したチャンネルのパン・コントロールを、本体ノブで操作できるようになります。
- **DEVICE:** DAW で選択したチャンネルのプラグイン・コントロールを、本体ノブで操作できるようになります。

注意: チャンネルのプラグイン・コントロールに対応していない DAW もあります。

- **SENDS:** DAW で選択したチャンネルのセンド・コントロールを、本体ノブで操作できるようになります。

注意: チャンネルのセンド・コントロールに対応していない DAW もあります。

アルペジエーター・ノブコントロール

アルペジオ再生中に SHIFT ボタンを押しながらノブ1～4を回すと、演奏中のアルペジオの各パラメーターを操作することができます。

演奏中にノブで変更可能な設定

- **TYPE(ノブ1)**: アルペジオのノートの再生方法の設定を変更します。
UP/DOWN/INCL/EXCL/ORDER/RANDOM/CHORD の 7 種類から選択することができます。
- **OCTAVE(ノブ2)**: アルペジオのオクターブレンジの設定を変更します。
- **GATE(ノブ3)**: アルペジオのゲートの設定を変更します。
ゲートのレンジはアルペジエーターで音がどのくらいの長さで鳴らされるかを設定します。ゲートが短くなるほど、音も短くなります。
- **SWING(ノブ4)**: アルペジオのスイングの設定を変更します。

ヒント: SHIFT ボタンを押しながら BANK>ボタンを押すと、アルペジエーター・ノブコントロールが可能なモードに固定されます。つまり、SHIFT ボタンを押し続けなくても、ノブ1～4で演奏中のアルペジオの各パラメーターを操作できるようになります。このモードに固定される際はディスプレイに「ARP LOCK」と表示されますが、モードの固定を外す際には何も表示されない仕様となっています。モードの固定を外すには、再度 SHIFT ボタンを押しながら BANK>ボタンを押してください。

アルペジオの各パラメーターについて詳しくは、後述の[アドバンス機能 > ARP ボタンと LATCH ボタン](#)をご覧ください。

Preset エディットモード

SHIFT ボタンを押しながら DAW/PRESET ボタンを押すと、ディスプレイに EDIT と表示されます。選択/スクロールエンコーダーノブを回して PRESET を選択し、ノブを押すと Preset エディットモードになります。

Preset のエディットモードに入ると、最初はピッチ・ホイールの設定を行うエディット画面になっています。この状態で各機能のボタンやスライダー、ホイール、パッドなどを本体で触ると、その機能の各種設定を編集することができます。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

MIDI Channel 設定

Channel:

GLOBAL SETTING メニューで割り当てたチャンネルを使用する場合 (Global)、または特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

- **Global:** グローバル MIDI チャンネルで送信します。グローバル MIDI チャンネルは GLOBAL EDIT SETTINGS メニューで割り当てられます。

Channel 1-16: 特定の MIDI チャンネルで送信します。

ユーザーPresetをセーブする

ユーザーPresetをセーブするには:

1. **SHIFT** と **DAW/PRESET ボタン** を押してエディットモードに入ります。ディスプレイに **EDIT** と表示されます。
 2. **選択/スクロールエンコーダー** を回して **PRESET** を選択し、**選択/スクロールエンコーダー** を押します。Preset エディットモードになります。
 3. **選択/スクロールエンコーダー** を回し、項目や値を変更します。決定するには**選択/スクロールエンコーダー** を押します。
 4. 再度 **DAW/PRESET ボタン** を押します。
 5. ディスプレイに「**SAVE?**」と表示され、その下に**選択/スクロールエンコーダー** で切替可能な3つの選択肢が表示されます。表示される選択肢は以下の通りです。
 - **CANCEL:** **CANCEL** と表示されている項目を選択中に**選択/スクロールエンコーダー** を押すと、**ユーザーPreset** への変更/エディット内容がすべて破棄されます。
 - **REPLACE:** **REPLACE** と表示されている項目を選択中に**選択/スクロールエンコーダー** を押すと、**ユーザーPreset** への変更/エディット内容が現在の Preset に上書き保存されます。
 - **SAVE AS:** **SAVE AS** と表示されている際に**選択/スクロールエンコーダー** で **YES** を選択すると、**CANCEL/REPLACE/SAVE AS** の選択肢の後に **LOCATION/NAME/SAVE** という選択肢が追加表示され、6 つの**選択肢が表示された状態**になります。
- **LOCATION:** この項目では、**選択/スクロールエンコーダー** で上書き保存する既存の Preset を選択します。
 - **NAME:** この項目では、**選択/スクロールエンコーダー** で新たにセーブするプリセットの名前を編集することができます (最大 7 文字まで)
- ヒント:** 名前は、**選択/スクロールエンコーダー** を回してアルファベットを選択し、**ノブ** を押して次の文字へ移動します。**BACK** ボタンを押すと 1 つ前の文字に戻り、**SHIFT** ボタンと **BACK** ボタンを同時に押すと、選択中の文字を削除することができます。新しい名前は、最大 7 文字まで設定可能です。7 文字目のアルファベットを決定するか、**BACK** ボタンを押すと 6 つの**選択肢が表示された画面**に戻ります。
- **SAVE:** 6 つの**選択肢**の最後の項目です。ここで**選択/スクロールエンコーダー** で **YES** を選択し**ノブ** を押すと、新たなプリセットがセーブされます。

Preset コントロールの編集

ピッチ・ホイール

ピッチ・ホイールの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のピッチ・ホイールを動かします。デフォルト設定では、エディットモードを開くと既にピッチ・ホイールの設定画面が表示されるようになっています。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel:ピッチ・ホイールがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Minimum Value:ホイールの最小位置の値を設定します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

Maximum Value:ホイールの最大位置の値を設定します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

モジュレーション・ホイール

モジュレーション・ホイールの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のモジュレーション・ホイールを動かします。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel:モジュレーション・ホイールがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

CC: モジュレーション・ホイールが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Minimum Value:ホイールの最小位置の値を設定します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

Maximum Value:ホイールの最大位置の値を設定します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとホイールの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

フェーダー

フェーダーの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のフェーダーを動かします。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: フェーダーがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

CC: フェーダーが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Minimum Value: フェーダーの最小位置の値を設定します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとフェーダーの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

Maximum Value: フェーダーの最大位置の値を設定します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとフェーダーの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

ノブ

ノブの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のノブを動かします。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: ノブがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

CC: ノブが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Minimum Value: ノブの最小位置の値を設定します。この値を **Maximum** より大きな値に設定するとノブの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

Maximum Value: ノブの最大位置の値を設定します。この値を **Minimum** より小さな値に設定するとノブの極性を逆転させることができます。

設定可能な値: 0-127

フェーダーボタン

フェーダーボタンの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のフェーダーボタンを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: フェーダーボタンがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Mode “MODE”:

- CC “CC”: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。
- CC Cycle “CC CYCLE”: フェーダーボタンを押すと、この CC 番号の値が送信され、1 回押すごとに循環します。
- CC Inc/Dec “CC INC/DC”: フェーダーボタンを押すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値番号を送信します。
- Program “PROGRAM”: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージのプログラム番号を選択します。
- Program Cycle “PRG CYCL”: フェーダーボタンを押すと、このプログラム番号の値が送信されます。
- Program Inc/Dec “PG IN/DC”: フェーダーボタンを押すと、プログラムの範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) プログラム番号が送信されます。
- Note “NOTE”: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージのノート番号を選択します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: フェーダーボタンを押した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: フェーダーボタンを離した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

CC Cycle 設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: フェーダーボタンを押した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: フェーダーボタンを離した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Values: フェーダーボタンを押すと、この数だけプログラム値が循環します (1 回に 1 つずつ) 2 Values、3 Values、4 Values の順に切り替わります。

利用可能な値:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First Value:

設定可能な値: 0-127

Second Value:

設定可能な値: 0-127

Third Value:

設定可能な値: 0-127

Last:

設定可能な値: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Type: フェーダーボタンを押すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値の番号が送信されます。

Min: 値域の中で最も低いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

Max: 値域の中で最も高いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Program: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージのプログラムナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

MSB: フェーダーボタンを押すと、このバンク MSB ナンバーが送信されます。

設定可能な値: 0-127

LSB: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージの Bank セレクトの LSB ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Program Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Values: フェーダーボタンを押すと、この数だけプログラム値が循環します (1 回に 1 つずつ) 2 Values、3 Values、4 Values の順に切り替わります。

利用可能な値:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: フェーダーボタンを押すと、まずこのプログラムメッセージが送信されます。

設定可能な値: 0-127

Second: フェーダーボタンを押すと、このプログラムメッセージは 2 番目に送信されます。

設定可能な値: 0-127

Third: フェーダーボタンを押すと、このプログラムメッセージは 3 番目に送信されます。

設定可能な値: 0-127

Last: フェーダーボタンを押すと、このプログラムメッセージが最後に送信されます。

設定可能な値: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC) に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Type: フェーダーボタンを押すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値の番号が送信されます。

Min: 値域の中で最も低いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

Max: 値域の中で最も高いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Note: フェーダーボタンが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。

設定可能な値: C-2 – G8

Latch: ラッチオンに設定すると、フェーダーボタンを押したときに 1 つの値が送信され、2 回目に押したときに別の値が送信され、押すたびに 2 つの値が交互に送信されます。ラッチオフに設定すると、フェーダーボタンは押されると 1 つの値を送信し、離すと 1 つの値を送信します。

選択可能な設定: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、フェーダーボタンを押してオンにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。

設定可能な値: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、フェーダーボタンを押してオフにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーが送信されます。

設定可能な値: 0-127

サステインペダル

サステインペダルの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体に接続した外部サステインペダルを踏みます。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: サステインペダルがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1-16)

CC: サステインペダルが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: サステインペダルを踏んだ時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: サステインペダルを離れた (ペダルをリリースした) 時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Latch: Latch On に設定すると、サステインペダルを押したときに 1 つの値、2 回目に押したときに別の値が送信され、押すたびに 2 つの値が交互に送信されます。Latch Off に設定すると、押したときに 1 つの値、離れたときに 1 つの値が送信されます。

選択可能な設定: On/Off

パッド

パッドの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のパッドのいずれかを叩きます。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: パッドがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1-16)

Color 1: パッドにアサインしたい 1 つ目の色を選択します。

選択可能な色: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリュース)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)

Color 2: パッドにアサインしたい 2 つ目の色を選択します。

選択可能な色: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリュース)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)

Mode “MODE”:

- Note “NOTE”: パッドが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。
- CC “CC”: パッドが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。
- CC Cycle “CC CYCLE”: パッドを押すと、この CC 番号の値が送信され、1 回押すごとに循環していきます。
- CC Inc/Dec “CC INC/DC”: パッドを押すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値の番号が送信されます。
- Program “PROGRAM”: パッドが送信する MIDI メッセージのプログラムナンバーを選択します。
- Program Cycle “PRG CYCL”: パッドを押すと、このプログラム番号の値を送信し、1 回押すごとに循環します。
- Program Inc/Dec “PG IN/DC”: パッドを押すと、プログラムの範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) プログラム番号が送信されます。

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Note: パッドが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。

設定可能な値: C-1 – G9

Latch: Latch On に設定するとパッドは押したときに 1 つの値を送信し、2 回目に押したときは異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値が交互に送信されます。Latch Off に設定すると、パッドは押されたとき 1 つの値を送信し、離されたとき 1 つの値を送信します。

選択可能な設定: On/Off

Note On: ラッチが有効な場合、パッドを押してオンにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーが送信されます。

設定可能な値: 0-127

Note Off: ラッチが有効な場合、パッドを押してオフにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーが送信されます。

設定可能な値: 0-127

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: パッドが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: パッドを押した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: パッドから指を離した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

CC Cycle 設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: パッドが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: パッドを押した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: パッドから指を離した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Values: パッドを押すと、この CC 番号の値が送信され、1 回押すごとに循環していきます。

利用可能な値:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First Value: 設定可能な値: 0-127

Second Value: 設定可能な値: 0-127

Third Value: 設定可能な値: 0-127

Last: 設定可能な値: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: パッドが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Type: パッドを押すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値の番号が送信されます。

Min: 値域の中で最も低い値がこの設定に対応することになります。

設定可能な値: 0-127

Max: 値域の中で最も高い値がこの設定に対応することになります。

設定可能な値: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Program: パッドが送信する MIDI メッセージのプログラムナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

MSB: パッドを押すとこのバンク MSB (最上位バイト) 番号を送信します。

設定可能な値: 0-127

LSB: パッドを押すとこのバンク LSB (最下位バイト) 番号を送信します。

設定可能な値: 0-127

Program Cycle に設定した場合、下記のパラメーターが使用可能です。:

Values: フェーダーボタンを押すと、この数だけプログラム値が循環します (1 回に 1 つずつ) 2 Values、3 Values、4 Values の順に切り替わります。

利用可能な値:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: パッドを押すとまずこの Program メッセージを送信します。

設定可能な値: 0-127

Second: パッドを押すとこの Program message 2 番目にを送信します。

設定可能な値: 0-127

Third: パッドを押すとこの Program メッセージを 3 番目に送信します。

設定可能な値: 0-127

Last: パッドを押したときに最後にこの Program メッセージを送ります。

設定可能な値: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC)に設定した場合、下記のパラメーターが使用可能です。:

Type: パッドを押すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値の番号が送信されます。

Min: 値域の中で最も低いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

Max: 値域の中で最も高いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

選択/スクロールエンコーダーノブを回す操作の設定

選択/スクロールエンコーダーノブを回す操作の設定を編集するには、Preset エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら選択/スクロールエンコーダーを動かし、項目や値を変更します。選択結果を決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: 選択/スクロールエンコーダーノブがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1-16)

Message:

- DAW “**DAW**”: このアサインは、Oxygen Pro Mini の現在の DAW 選択のエンコーダーにアサインされたメッセージと一致します。
- Program Cycle “**PRG CYCL**”: ソフトウェアや外部 MIDI ハードウェアで異なるプリセットを選択する際に便利です。2~4 種類のプログラム・メッセージから選択します。
- Program Inc/Dec “**PG IN/DC**”: 複数のプログラムメッセージをスクロールするのに便利です。
- CC Cycle “**CC CYCLE**”: ボタンやバーチャルインストゥルメントで 2~4 個のパラメータを制御するように、2~4 個の CC 値で制御する場合に便利です。2~4 個の値を選択します。
- CC Inc/Dec “**CC IN/DC**”: 複数の CC 値をスクロールする際に便利です。
- CC Relative “**CC RELTV**”: ソフトウェアでエンドレスのエンコーダーを制御する場合に便利です。右 65、左 63、右 63、左 65、右 127、左 01、右 01、左 127 から選択可能です。

Program Cycle に設定した場合、以下のパラメーターが使用可能です。:

Values: エンコーダーを使用すると、この数だけプログラム値が循環します (1 回に 1 つずつ) 2 Values、3 Values、4 Values の順に切り替わります。

利用可能な値:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: エンコーダーを押すと、まずこの Program メッセージが送信されます。

設定可能な値: 0-127

Second: エンコーダーを押すと、この Program メッセージを 2 番目に送ります。

設定可能な値: 0-127

Third: エンコーダーを押すと、この Program メッセージを 3 番目に送ります。

設定可能な値: 0-127

Last: エンコーダーを押すと、この Program メッセージを最後に送ります。

設定可能な値: 0-127

Program IN/DC (PG IN/DC) に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Type: エンコーダーを回すと、値の範囲内で次の (Increment) または前の (Decrement) 値番号が送信されます。

Minimum: 値域の中で最も低いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

Maximum: 値域の中で最も高いプログラム値がこの設定に対応します。

設定可能な値: 0-127

CC Cycle に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: 選択/スクロールエンコーダーノブが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Values: エンコーダーを回すと、この CC 番号の値が送信され、一度に 1 つずつ、ノッチごとに循環します。

利用可能な値:

- 2 Values
- 3 Values
- 4 Values

First: エンコーダーは、最初に回すとこの値で MIDI CC ナンバーを送信します。

設定可能な値: 0-127

Second: エンコーダーは、2 ノッチ目でこの値を持つ MIDI CC ナンバーを送信します。

設定可能な値: 0-127

Third: エンコーダーは、3 ノッチ目でこの値を持つ MIDI CC ナンバーを送信します。

設定可能な値: 0-127

Last: エンコーダーは、最終ノッチでこの値を持つ MIDI CC ナンバーを送信します。

設定可能な値: 0-127

CC IN/DC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: 選択/スクロールエンコーダーノブが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Min: 値域の中で最も低い値がこの設定に対応することになります。

設定可能な値: 0-127

Max: 値域の中で最も高い値がこの設定に対応することになります。

設定可能な値: 0-127

CC Relative に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: 選択/スクロールエンコーダーノブが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Type: エンコーダーを左右に回すと、その範囲内の数値が送信されます。

設定可能な値:

- Right 65、Left 63
- Right 63、Left 65
- Right 127、Left 01
- Right 01、Left 127

選択/スクロールエンコーダーノブをボタンとして押す操作の設定

選択/スクロールエンコーダーノブを押す操作の設定を編集するには、Preset エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら選択/スクロールエンコーダーノブを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: 選択/スクロールエンコーダーノブがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル(Global)

特定のチャンネル(Channel 1-16)

Assign:

- **DAW “DAW”:** このアサインは、Oxygen Pro Mini の現在の DAW 選択のエンコーダー・プレスに割り当てられたメッセージと一致します。
- **CC:** CC に設定すると、エンコーダーを押したときに標準的な MIDI CC メッセージがバーチャル・インストゥルメントに送信されます。
- **Program:** エンコーダーは、選択されたプログラム番号と MSB と LSB の値を使用して MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: 選択/スクロールエンコーダーノブが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: 選択/スクロールエンコーダーノブのボタンを押した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: 選択/スクロールエンコーダーノブのボタンから指を離れた時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Program: 選択/スクロールエンコーダーノブのボタンが送信する MIDI メッセージのプログラムナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

設定可能な値: 0-127

MSB: エンコーダーを押すと、このバンク MSB(Most Significant Byte) ナンバーが送信されます。

設定可能な値: 0-127

LSB: エンコーダーを押すと、このバンク LSB(Least Significant Byte) ナンバーが送信されます。

設定可能な値: 0-127

BACK ボタン

BACK ボタンの設定を編集するには、Preset エディットモードを開いた状態で本体の **SHIFT ボタン** を押しながら BACK ボタンを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。

Channel: BACK ボタンがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1-16)

Assign:

- **DAW "DAW":** このアサインは、Oxygen Pro Mini の現在の DAW 選択の Back ボタンに割り当てられたメッセージと一致します。
- **CC:** CC に設定すると、Back ボタンは標準的な MIDI CC メッセージをバーチャル・インストゥルメントに送信します。
- **Program:** Back ボタンは、選択されたプログラム番号と MSB と LSB の値を使用して MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: BACK ボタンが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Press: BACK ボタンを押した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Release: BACK ボタンから指を離した時に送信される MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Program に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Program: BACK ボタンが送信する MIDI メッセージのプログラムナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

MSB: Back ボタンを押すと、このバンク MSB (最上位バイト) 番号が送信されます。

設定可能な値: 0-127

LSB: BACK ボタンが送信する MIDI メッセージの Bank セレクトの LSB (Least Significant Byte) ・ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

Preset または DAW ユーザーPreset をセーブする

Preset または DAW でのユーザーPreset をセーブするには

6. **SHIFT** と **DAW/PRESET ボタン**を押してエディットモードに入ります。ディスプレイに **EDIT** と表示されます。
7. 選択/スクロールエンコーダーを回して **PRESET** もしくは **DAW** を選択し、選択/スクロールエンコーダーノブを押します。Preset もしくは **DAW** のエディットモードになります。
8. 選択/スクロールエンコーダーを回し、項目や値を変更します。決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。
9. 再度 **DAW/PRESET ボタン**を押します。
10. ディスプレイに「**SAVE?**」と表示され、その下に選択/スクロールエンコーダーで切替可能な3つの選択肢が表示されます。表示される選択肢は以下の通りです。
 - **CANCEL**:CANCEL と表示されている項目を選択中に選択/スクロールエンコーダーを押すと、Preset または DAW でのユーザーPreset への変更/エディット内容がすべて破棄されます。
 - **REPLACE**:REPLACE と表示されている項目を選択中に選択/スクロールエンコーダーを押すと、Preset または DAW でのユーザーPreset への変更/エディット内容が現在の Preset に上書き保存されます。
 - **SAVE AS**:SAVE AS と表示されている際に選択/スクロールエンコーダーで「YES」を選択すると、**CANCEL/REPLACE/SAVE AS** の選択肢の後に **LOCATION/NAME/SAVE** という選択肢が追加表示され、**6つの選択肢が表示された状態**になります。
 - **LOCATION**:この項目では、選択/スクロールエンコーダーで上書き保存する既存の Preset を選択します。
 - **NAME**:この項目では、選択/スクロールエンコーダーで新たにセーブするプリセットの名前を編集する事ができます(最大 7 文字まで)

ヒント: 名前は、選択/スクロールエンコーダーノブを回してアルファベットを選択し、ノブを押して次の文字へ移動します。BACK ボタンを押すと 1 つ前の文字に戻り、SHIFT ボタンと BACK ボタンを同時に押すと、選択中の文字を削除することができます。
新しい名前は、最大 7 文字まで設定可能です。7 文字目のアルファベットを決定するか、BACK ボタンを押すと 6 つの選択肢が表示された画面に戻ります。

SAVE:6 つの**選択肢**の最後の項目です。ここで選択/スクロールエンコーダーで YES を選択しノブを押すと、新たなプリセットがセーブされます。

DAW エディットモード

SHIFT ボタンを押しながら **DAW/PRESET ボタン**を押すと、ディスプレイに **EDIT** と表示されます。**選択/スクロールエンコーダーノブ**を回して DAW を選択し、ノブを押すと DAW エディットモードになります。

DAW のエディットモードに入ると、最初はピッチ・ホイールの設定を行うエディット画面になっています。この状態で各機能のボタンやスライダー、ホイール、パッドなどを本体で触ると、その機能の各種設定を編集することができます。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーを回し、決定するには**選択/スクロールエンコーダー**を押します。

DAW ユーザーPreset をセーブする

DAW でのユーザーPreset をセーブするには

1. **SHIFT** と **DAW/PRESET ボタン**を押してエディットモードに入ります。ディスプレイに **EDIT** と表示されます。
2. 選択/スクロールエンコーダーノブを回して DAW を選択し、選択/スクロールエンコーダーを押します。DAW エディットモードになります。
3. 選択/スクロールエンコーダーノブを回し、項目や値を変更します。決定するには選択/スクロールエンコーダーを押します。
4. 再度 **DAW/PRESET ボタン**を押します。
5. ディスプレイに「**SAVE?**」と表示され、その下に選択/スクロールエンコーダーで切替可能な3つの選択肢が表示されます。表示される選択肢は以下の通りです。
 - **CANCEL**: CANCEL と表示されている項目を選択中に選択/スクロールエンコーダーを押すと、DAW でのユーザーPreset への変更/エディット内容がすべて破棄されます。
 - **REPLACE**: REPLACE と表示されている項目を選択中に選択/スクロールエンコーダーを押すと、DAW でのユーザーPreset への変更/エディット内容が現在の Preset に上書き保存されます。
 - **SAVE AS**: SAVE AS と表示されている際に選択/スクロールエンコーダーで「YES」を選択すると、**CANCEL/REPLACE/SAVE AS** の選択肢の後に **LOCATION/NAME/SAVE** という選択肢が追加表示され、**6 つの選択肢が表示された状態**になります。
 - **LOCATION**: この項目では、選択/スクロールエンコーダーで上書き保存する既存の Preset を選択します。
 - **NAME**: この項目では、選択/スクロールエンコーダーで新たにセーブするプリセットの名前を編集する事ができます（最大 7 文字まで）。

ヒント: 名前は、選択/スクロールエンコーダーを回してアルファベットを選択し、ノブを押して次の文字へ移動します。BACK ボタンを押すと 1 つ前の文字に戻り、SHIFT ボタンと BACK ボタンを同時に押すと、選択中の文字を削除することができます。新しい名前は、最大 7 文字まで設定可能です。7 文字目のアルファベットを決定するか、BACK ボタンを押すと 6 つの選択肢が表示された画面に戻ります。

SAVE: 6 つの**選択肢**の最後の項目です。ここで選択/スクロールエンコーダーで YES を選択しノブを押すと、新たなプリセットがセーブされます。

フェーダー

フェーダーの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のフェーダーを動かします。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

Channel: フェーダーがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1-16)

Message “MESSAGE”:

- Mackie **“Mackie”**: Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応する DAW でフェーダーを使用することができます。
- Mackie/HUI **“MACK/HUI”**: Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応した DAW でフェーダーを使用することができます。
- CC **“CC”**: フェーダーはこの CC 番号を使用して MIDI メッセージを送信します。

CC: フェーダーはこの CC 番号を使用して MIDI メッセージを送信します。

設定可能な値: 0-127

ノブ

プリセットエディットモードでは、ノブを動かして編集することができます。また、エンコーダーを使用して利用可能なパラメーター値をスクロールできます。エンコーダーを押して、編集したいパラメータを選択します。

Channel: ノブはこのチャンネルでメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、または特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

設定可能な値: Global、1-16

Message “MESSAGE”:

- Mackie **“Mackie”**: Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW でノブを使用することができます。
- Mackie/HUI **“MACK/HUI”**: Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応した DAW でノブを使用することができます。
- CC **“CC”**: フェーダーはこの CC 番号を使用して MIDI メッセージを送信します。

CC: ノブはこの CC ナンバーを使用して MIDI メッセージを送信します。

設定可能な値: 0-127

パッド

パッドの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体のパッドのいずれかを叩きます。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

Channel: パッドがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Color 1: パッドにアサインしたい 1 つ目の色を選択します。

選択可能な色: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリュース)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)

Color 2: パッドにアサインしたい 2 つ目の色を選択します。

選択可能な色: “OFF” (オフ)、“CHAR.” (シャルトリュース)、“GREEN” (グリーン)、“AQUA” (アクア)、“CYAN” (シアン)、“AZURE” (アズール)、“BLUE” (ブルー)、“VIOLET” (バイオレット)、“MAGENTA” (マゼンタ)、“ROSE” (ローズ)、“RED” (レッド)、“ORANGE” (オレンジ)、“YELLOW” (イエロー)、“WHITE” (ホワイト)

Type “TYPE”:

- Note “NOTE”: パッドが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。
- CC “CC”: パッドが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。
- Preset “PRESET”: PRESET に設定すると、プリセットモード時にパッドに割り当てられたメッセージと同じものが送信されます。

Note に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

Note: パッドが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。

設定可能な値: C-1 – G9

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: パッドが送信する MIDI メッセージのノートナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

選択/スクロールエンコーダーノブを回す操作の設定

選択/スクロールエンコーダーノブを回す操作の設定を編集するには、DAW エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら選択/スクロールエンコーダーノブを動かし、項目や値を変更します。選択結果を決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

Channel: 選択/スクロールエンコーダーノブがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1-16)

Message:

- **Mode:** エンコーダーを回したときに、どのようなメッセージを送るかを指定します。
 - **CC Relative:** 標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送信する際に便利です。
 - **CC Inc/Dec:** 複数の CC 値をスクロールする際に便利です。
 - **Mackie Up/Down:** Mackie Control Mode に対応した DAW で、上下にスクロールする場合に便利です。
 - **Mackie Left/Right:** Mackie Control Mode に対応した DAW で左 右にスクロールするのに便利です。
 - **HUI Up/Down:** HUI モードに対応した DAW で、上下にスクロールさせるのに便利です。
 - **HUI Left/Right:** HUI モードに対応した DAW で、左右にスクロールさせるのに便利です。
- **CC Relative Type:** エンコーダーを左右に回すと、その範囲内の数値が送信されます。
 - Right 65、Left 63
 - Right 63、Left 65
 - Right 127、Left 01
 - Right 01、Left 127
- **CC:** エンコーダーを回したときに送信される MIDI CC 値を選択します。

選択/スクロールエンコーダーノブをボタンとして押す操作の設定

選択/スクロールエンコーダーノブを押す操作の設定を編集するには、DAW エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら選択/スクロールエンコーダーノブを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

Channel: 選択/スクロールエンコーダーノブがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Message:

- **Mode:** エンコーダーを回したときに送信されるメッセージを指定します。
 - **CC:** CC に設定すると、エンコーダーは標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Mackie:** Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応する DAW でエンコーダーを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応する DAW でエンコーダーを使用することができます。
- **CC:** エンコーダーを押したときに送信される MIDI CC 値を選択します。

BACK ボタン

BACK ボタンの設定を編集するには、DAW エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら BACK ボタンを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

Channel: BACK ボタンがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Message:

- **Mode:** これは、Back ボタンが押されたときに、どのようなメッセージを送るかを指定するものです。
 - **CC:** CC に設定すると、Back ボタンは DAW に標準的な MIDI CC メッセージを送信します。
 - **Mackie:** Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW で Back ボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応した DAW で Back ボタンを使用することができます。
- **CC:** Back ボタンが押されたときに送信される MIDI CC 値を選択します。

BANK(>)ボタン/BANK(<)ボタン

BANK(>)ボタン/BANK(<)ボタンの設定を編集するには、DAW エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら BANK(>)ボタン/BANK(<)ボタンのいずれかを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

Channel: BANK(>)ボタン/BANK(<)ボタンがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Message:

- **Mode:** Bank < / > ボタンが押されたときに送信されるメッセージを指定します。
 - **CC:** CC に設定すると、Bank < / > ボタンが DAW に標準的な MIDI CC メッセージを送信します。
 - **Mackie:** Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応する DAW で Bank < / > ボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応する DAW で Bank < / > ボタンを使用することができます。
- **CC:** Bank < / > ボタンが押されたときに送信される MIDI CC 値を選択します。
- **Down:** Bank < / > ボタンを押すと、この CC 値が送信されます。
- **Up:** Bank < / > ボタンを離すと、この CC 値が送信されます。

トランスポートコントロール

DAW エディットモード時に、<<、>>、Loop、Stop、Play または Record ボタンの機能を編集するには、<<、>>、Loop、Stop、Play または Record ボタンを押して、エンコーダーを使用して、利用可能なパラメーター値を変更することができます。また、エンコーダーを押して、編集したいパラメーターを選択します。

Channel: <<、>>、Loop、Stop、Play、Record の各ボタンは、このチャンネルを経由してメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、または特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

設定可能な値: Global、1-16

Message:

- **Mode:** <<、>>、Loop、Stop、Play、Record の各ボタンを押したときに送信するメッセージを指定します。
 - **CC:** CC に設定すると、<<、>>、Loop、Stop、Play または Record ボタンが DAW に標準的な MIDI CC メッセージを送信します。
 - **Mackie:** Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW で <<、>>、Loop、Stop、Play または Record ボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI:** Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応した DAW で <<、>>、Loop、Stop、Play または Record ボタンを使用することができます。
- **CC:** <<、>>、Loop、Stop、Play または Record ボタンを押したときに送信する MIDI CC 値を選択します。

DAW/PRESET ボタン

DAW/PRESET ボタンの設定を編集するには、エディットモードを開いた状態で本体の SHIFT ボタンを押しながら DAW/PRESET ボタンを押します。項目や値を変更するには選択/スクロールエンコーダーノブを回し、決定するには選択/スクロールエンコーダーノブを押します。

注:いくつかのパラメータ値が設定されている場合、編集可能なパラメータに影響があります。例えば、Mode パラメータを Mackie から CC に変更すると、編集可能なパラメータは CC パラメータに変更されます。

Channel: DAW/PRESET ボタンがコントロールする MIDI チャンネルを選択します。

選択可能な MIDI チャンネルの設定:

グローバルチャンネル (Global)

特定のチャンネル (Channel 1–16)

Assignment “ASSIGN”:

- Mackie “**MACKIE**”: Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応する DAW でボタンを使用することができます。これを選択した場合、メッセージは送信されません。
- Mackie/HUI “**MACK/HUI**”: Mackie/HUI に設定すると、HUI モードに対応した DAW でボタンを使用することができます。これを選択した場合、メッセージは送信されません。
- CC “**CC**”: ボタンはこの CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。

CC に設定されている場合、下記のパラメーターが選択可能です。

CC: DAW/PRESET ボタンが送信する MIDI メッセージの CC ナンバーを選択します。

設定可能な値: 0-127

ユーザーDAWの保存

ユーザーDAWを保存する場合:

1. SHIFT ボタンを押しながら DAW/Presets ボタンを押して、Edit Mode に入ります。OLED は最上段に "EDIT" を表示し、現在の DAW/Presets モードの選択に応じて、2 段目に Presets または DAW がハイライト表示されます。

注: Presets または DAW が強調表示されている場合、エンコーダーを回して DAW または Presets の編集モードを変更し、現在の選択内容を変更することができます。

2. エンコーダーを押して、DAW または Presets のエディットモードに入ります。
3. コントロールの編集
4. **DAW/Presets** ボタンを押す。
5. ディスプレイに "**SAVE?**" と表示され、以下の選択が可能になります。
 - **Cancel:** Cancel する場合は "Yes" を選択すると、変更した内容が元に戻ります。
 - **Replace:** Replace を "Yes" にすると、現在選択されている Presets に上書きされます。
 - **Save As:** Save As で "Yes" を選択すると、DAW の名前 "NAME" を編集/変更することができます。Save 画面で "Yes" を押すと、新しい User DAW が保存されます。

注: DAW 名を編集する場合、Shift ボタンとエンコーダーを使用して編集したい文字までスクロールし、Shift ボタンを離すと現在の文字が選択されます。DAW 名の文字を消去するには、SHIFT と Back ボタンを押します。

詳細設定

ARP ボタンと Latch ボタン

ARP ボタンを押すと、内蔵されているアルペジエーターが起動します。アルペジエーターのレートは、現在のテンポとタイムディビジョンの設定に基づいていますが、Tempo ボタンを使って編集できます。SHIFT ボタンを押しながらパッド 5-8 1/4、1/8、1/16、1/32 を押すか、ノートリピートボタンを押しながらエンコーダーを回すと各設定にアクセスできます。

ARP LATCH 機能を有効にするには、**ARP LATCH** ボタンを押します。

注:アルペジエーターは、現在のテンポの BPM 設定、または外部 MIDI クロック・ソースに同期させることも可能です。クロック・ソースは、プリセット・エディット・モードで Tempo ボタンを選択/押すことで編集可能です。アルペジエーター機能は、2 つのキーボードモード、DAW、PRESET で使用できます。

注意:タイムディビジョン・パッドを 2 回押すと、タイムディビジョンの定を 3 連符に変更することもできます。例えば、1/16 音符の 3 連符を演奏させたい場合は、1/16 パッドを 2 回押します。1/16 パッドが点滅し、3 連符がアクティブであることを示します。

アルペジエーターを編集するには、**SHIFT** と **ARP** ボタンを押します。

アルペジエーターのタイプを編集するには、Type のエンコーダーをクリックし、メニューから希望の設定を選択します。モードは、アルペジオされたノートがどのように再生されるかを決定します。:

- **Up:** 音は、低い音から高い音へと順番に鳴ります。
- **Down:** 音は、高い音から低い音へと順番に鳴ります。
- **Inclusive:** 音は、低い>高い>低い>高いを繰り返します。方向転換の際、最低音と最高音は 2 回鳴ります。
- **Exclusive:** 音は、低い>高い>低い>高いを繰り返します。最低音と最高音は、方向転換の際に一度だけ鳴ります。
- **Order:** 音は押した順に鳴ります。
- **Random:** 音はランダムに鳴ります。
- **Chord:** 音は和音で鳴ります。

アルペジエーターのオクターブ幅を設定するには、Octave のエンコーダーをクリックし、1、2、3 オクターブのいずれかを選択します。オクターブの範囲は、1 回のキー操作で ARP の何オクターブが演奏されるかを決定します。オクターブ数が多ければ多いほど、1 つの鍵盤で演奏できる音数が増えます。

アルペジエーターのゲートを設定するには、Gate のエンコーダーをクリックし、5~100 の間で希望の値を選択します。ゲートの範囲は、アルペジエーターの中で音が再生される長さを決定します。ゲートが短ければ短いほど、音は短くなります。

アルペジエーターのスイングを設定するには、スイングのエンコーダーをクリックし、50%から 75%の間で希望の設定を選択します。スイングの範囲は、パターン化された音符からどの程度の偏差があるかを決定します。スイングが大きいほど、時間的なずれが大きくなります。

チャンネルを選択し、ARP スプリットがどのチャンネルで送信されるかを設定します。

Smart Chord ボタン

このボタンを押すと、内蔵されているスマートコード機能が起動します。スマートコード機能は、キーボードまたはパッドで演奏される音、あるいはその両方（グローバル設定メニューの選択による）に対して機能します。スマートコード機能が有効な場合、キーを 1 回押すだけで、スマートコード編集オプションで選択したコードが再生されます。この機能は、2 つのキーボードモード、DAW、PRESET で利用できます。

スマートコードの設定を変更するには、SHIFT キーを押しながら CHORD ボタンを押します。

Mode:

- **Smart** モードでは、曲のキー（例：C メジャー）を選択することができます。物理キーボードの鍵盤を押すと、その鍵盤のコードが再生されます。
- **Custom** モードでは、カスタムコードを入力することができます。コードを入力したら、物理鍵盤のキーを押してコードを演奏します。カスタムコードを作成するには、エンコーダーをカスタムフィールドに押し込み、エンコーダーで希望の音を選択するか、入力したい音のキーを押してください。Custom chord モードでは、6 つのノートを使用できます。
 - **Note 1:** カスタムコード (Custom Chord) の最初の音。
 - **Note 2:** カスタムコードの 2 音目
 - **Note 3:** カスタムコードの 3 音目
 - **Note 4:** カスタムコードの 4 音目
 - **Note 5:** カスタムコードの 5 音目
 - **Note 6:** カスタムコードの 6 音目
- **KEY:** Smart Chord がどのようなキーになっているかを選択します。
- **Type:** コードに使用する音階を、メジャーまたはマイナーから選びます。
- **Voicing:** スマートコードモードで有効な指使いを選択することができます。

また、SHIFT ボタンを押しながら、キーボードのキーを使って、素早くパラメーターを編集することができます。

- **Chan:** グローバルチャンネル (Global) または特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

Smart Scale ボタン

このボタンを押すと、キーボードに内蔵されているスマートスケールの機能が有効になります。現在の音階は、Smart Scale の設定 (Smart Scale Edit メニュー) にもとづいています。スマート・スケール機能は、キーボードで演奏されている音に対してのみ機能します。スマートスケールモードが有効な場合、鍵盤は現在選択されているキーとスケールのキーの音だけを演奏します。この機能は、2 つのキーボードモード、DAW、PRESET で利用できます。

Smart Scale の設定を編集するには、SHIFT キーを押しながら SCALE ボタンを押します。

- **KEY:** Smart Scale がどのキーにあるのかを選択します。
- **SCALE:** Smart Scale が使用するスケールを選択します。スケールの上でエンコーダーを押し、適用するスケールを選択します。: **Chromatic、Major、Dorian、Phrygian、Lydian、Mixolydian、Minor Harmonic、Locrian、Minor、Minor Melodic、Pentatonic Major、Pentatonic Minor、Blues、Altered Dominant、Diminished Whole Half、Whole Tone**
- **Chan:** グローバルチャンネル (Global) または特定のチャンネル (Channel 1-16) を選択します。

Global Settings メニュー

ディスプレイのグローバルセッティングメニューを使って、キーボードのデフォルトコントロールの一部をカスタマイズすることができます。これらの設定は、DAW モードとプリセットモードの両方でキーボードに適用され、グローバル設定メニューで行った変更は、キーボードの電源を切った後も保存されます。

グローバルセッティングメニューに入るには、Shift を押しながらモードボタンを押します。Select/Scroll Encoder (選択/スクロール・エンコーダ) を使用して、設定を調整します。

グローバルセッティングメニューを終了するには、Back ボタンを押します。

選択できるグローバル設定は以下の通りです。:

Button: DAW モード時にチャンネルフェーダーボタンが送信するメッセージを決定するボタン設定です。

- **Record:** MODE ボタンが点灯しているときに、チャンネル録音アームメッセージを送信するようになります。
- **Solo:** MODE ボタン点灯時にチャンネルソロメッセージを送信するようになります。
- **Mute:** MODE ボタン点灯時にチャンネルミュートメッセージを送信するようになります。
- **Track Select:** MODE ボタン点灯時にトラックセレクトメッセージを送信するようになります。

Global MIDI Channel (G. CHAN.): デフォルトのグローバル MIDI チャンネルを 1~16 のの中から選択し、キーボードがそのチャンネルで MIDI ノートとメッセージを送信するようにします。

Program Change (PROG): 0-127 のプログラムチェンジナンバーを選択すると、キーボードから送信される MIDI メッセージが、接続された MIDI ハードウェアまたは USB 接続によるソフトウェアに MIDI プログラムを選択させることができます。

BANK MSB (B. MSB): バンクセレクトメッセージを 0-127 の範囲で送信し、MSB メッセージに応答する MIDI ハードウェアまたはソフトウェアのパッチにアクセスします。

BANK LSB (B. LSB): 0-127 のバンクセレクトメッセージを送信して、LSB メッセージに応答する MIDI ハードウェアまたはソフトウェアのパッチにアクセスします。

Keyboard Octave (KEY OCT.): 鍵盤のオクターブ範囲を-4~+5 から選びます。

Keyboard Transpose (K. TRANS): 鍵盤のトランスポーズ範囲を-12~+12 から選びます。

Keyboard Sensitivity (K. SENS.): キーボードの感度設定を、Low、Medium、High、Linear、Fixed 64、Fixed 100、Fixed 127 から選択します。

Pad Sensitivity (PD SENS.): パッド感度の設定を、Low、Medium、High、Linear、Fixed 64、Fixed 100、Fixed 127、From 64 か 127、Fixed 64、100、127、Fixed 32、64、100、127

5-Pin MIDI Output Messages “MIDI OUT”: リア・パネルの 5 ピン MIDI DIN コネクタから、Oxygen Pro Mini のコントロール、パッド、鍵盤のみ (Keys)、USB 接続の PC から受信した MIDI データのみ (USB)、Oxygen Pro Mini のコントロール、パッド、鍵盤、接続した PC (Keys/USB)、MIDI データを送信しない (Off) を決定する項目です。

Chord Mode: コードモードがアクティブのとき、鍵盤、パッド、またはパッドと鍵盤のコードモードをアクティブにするかどうかを決定します。

MIDI Out: 鍵盤や USB ポートからの MIDI データを MIDI OUT に送るかどうかを設定します。Off、Keys、USB、Keys and USB から選択する。

付録

ペロシティーカーブ

キーボードの感度

鍵盤のペロシティーカーブを選んでいるときは、ディスプレイに **K.SENS.**が表示されます。

Oxygen Pro Mini ディスプレイ 説明

Low	低感度な設定で、ペロシティーが低い音を中心に演奏する場合に有効です。
Medium	中程度の感度（初期値）、平均的な力加減で演奏する場合に有効です。
High	高感度な設定で、ペロシティーが高い音を中心に演奏する場合に有効です。
Linear	これは一次曲線になり、ノートのペロシティーは力の大きさに比例することになります。
Fixed 64	すべてのノートのペロシティーは 64 に固定されます。
Fixed 100	すべてのノートのペロシティーは 100 に固定されます。
Fixed 127	すべてのノートのペロシティーは 127 に固定されます。

パッドの感度

パッドのベロシティカーブを選択しているときは、ディスプレイに **PD.SENS.**が表示されます。

Oxygen Pro Mini ディスプレイ 説明

Low	低感度な設定で、ベロシティーが低い音を中心に演奏する場合に有効です。
Medium	中程度の感度(初期値)、平均的な力加減で演奏する場合に有効です。
High	高感度な設定で、ベロシティーが高い音を中心に演奏する場合に有効です。
Linear	これは一次曲線になり、ノートのベロシティーは力の大きさに比例することになります。
Fixed 64	すべてのノートのベロシティは 64 に固定されます。
Fixed 100	すべてのノートのベロシティは 100 に固定されます。
Fixed 127	すべてのノートのベロシティは 127 に固定されます。
From 64 - 127	叩く強さに応じて 64 から 127 までのベロシティーになります。
Fixed 64、100、127	叩く強さに応じて 64、100、127 のベロシティーになります。
Fixed 32、64、100、127	叩く強さに応じて 32、64、100、127 のベロシティーになります。

パッド LED カラーリスト

NAME	COLOR
OFF	LED OFF
CHAR.	CHARTREUSE
GREEN	GREEN
AQUA	AQUAMARINE
CYAN	CYAN
AZURE	AZURE
BLUE	BLUE
VIOLET	VIOLET
MAGENTA	MAGENTA
ROSE	ROSE
RED	RED
ORANGE	ORANGE
YELLOW	YELLOW
WHITE	WHITE

プリセットリスト

1. MPC PI (MPC Plugin)	9. Preset
2. Hybrid (Hybrid 3)	10. Preset
3. MiniGrd (MiniGrand)	11. Preset
4. Velvet	12. Preset
5. Xpand (Xpand!2)	13. Preset
6. Vacuum	14. Preset
7. Boom	
8. DB33	

DAW リスト

1. Ableton (Ableton Live)	7. Logic
2. MPC (MPC Beats)	8. Reaper
3. Pro Tools	9. Reason
4. Bitwig	10. FL St. (FL Studio)
5. Studio 1 (Studio One)	11. User DAW
6. Cubase	

MIDI ポート

Oyxgen Pro Mini アウトプットポート

Messages	Windows	macOS
Preset Mode Controls、 Keys、 Pads、 Timing Clock Messages	Oxygen Pro ##	USB MIDI
DAW Mode Controls、 Pads	MIDIOUT3 (Oxygen Pro ##)	MACKIE/HUI
Preset Editor	MIDIOUT4 (Oxygen Pro ##)	EDITOR

Oyxgen Pro Mini インプットポート

Messages	Windows	macOS
Timing Clock Messages In	Oxygen Pro ##	USB MIDI
5-Pin MIDI DIN In	MIDIIN2 (Oxygen Pro ##)	MIDI DIN
DAW LED control、 and Mackie/HUI Heartbeat Messages	MIDIIN3 (Oxygen Pro ##)	MACKIE/HUI
Preset Editor	MIDIIN4 (Oxygen Pro ##)	EDITOR

工場出荷時の初期化/Factory Reset

Oxygen Pro Mini のコントロール、プリセット、DAW を工場出荷時の設定に戻すには、Oxygen Pro Mini の電源をオフにし、Octave +と-ボタンを押しながら Oxygen Pro Mini の電源をオンにします。

技術仕様

電源	USB バスパワー
MIDI コネクター	TRS 3.5 mm to 5 Pins DIN Female - Type A cable
本体サイズ(WxDxH)	401 mm x 190 mm x 60 mm
重量	1.2 kg

仕様は予告なく変更される場合があります。

商標およびライセンス

M-Audio、AIR Music Technology は、米国およびその他の国における inMusic Brands、Inc.の登録商標です。
AAX、Avid、Pro Tools は、Avid Technology、Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
Ableton は、Ableton AG の商標です。
Apple Store、iPad、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標またはサービスマークです。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名、会社名、商標、商号は、それぞれの所有者のものです。

m-audio.com